

11月30日(金)

## ■ 赤松副学長からの国際高等教育院(仮称)メール<sup>※1</sup>

### Point

○今の全学共通教育体制に問題有り

中身がよく見えない...

→ より機能強化された国際高等教育院(仮)へ

○200人規模の専任教員を集める

→ 50名前後? (規模はまだ調整中?)

○今回の改革は人・環, 総人の教育・研究には影響ない。(から落ち着け)

直ちには?

いずれ全学に影響出る可能性は?

### 疑問点

カリキュラムが変わるのはホント?

なんか色々あってよくわからない

○今の全学共通教育の何が問題? 全学で結論が出たの?

教育院にしたら具体的に何が良くなるの?

○教育院に200名程度を措置する(9月の総長メールの参考資料6<sup>※2</sup>)

っていう基本方針はどこに行ったの? どうして変えたのか?

議論の過程が見えない!

○「教育研究組織の自治を尊重する」という京大の基本理念<sup>※3</sup>(7)がある

けど、人・環教授会の反対決議<sup>※4</sup>はどう扱うのか?

調和?

ダイガクの学部自治なんていらんのかな...

そもそも、総長は何がしたいんだろう。

みんなの絶対おかしいよ!

/人...人\

※1 11月26日の赤松明彦理事・副学長から全学生へのメール [http://www50.atwiki.jp/ku\\_students/pages/27.html](http://www50.atwiki.jp/ku_students/pages/27.html)

※2 国際高等教育院(仮称)設置のための基本方針 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/policy/other/revision/documents/others/06.pdf>

※3 京都大学の基本理念(裏参照) <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/intro/ideals/basic/>

※4 全学共通教育の更なる充実に向けての人間・環境学研究科の基本姿勢(学内限定) <http://www.h.kyoto-u.ac.jp/gakunai/ketsugibun.pdf>